

## セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子 製品名	Gagekote 1
他の識別手段	該当なし。
化学品の推奨用途と使用上の制限 推奨用途 使用上の制限	コーティング。 - ガルバニックおよび電気メッキ製品を含む金属表面処理製品 上記以外のもの。
安全性データシート供給者の詳細 供給者の詳細 納入業者の住所	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW イギリス
電話	+44 (0) 1256 462131
F a x	+44 (0) 1256 471441
E メール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com
緊急電話番号 緊急連絡用電話の番号	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC (24 時間)

## セクション 2: 危険有害性の要約

危険有害性の概要	引火性の液体及び蒸気。液体。?とベンゼンのような。において、取り扱い前に特別の指示を受ける。飲み込むと有害である。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。飲み込んだ場合：中毒センター、医師、または、…に連絡すること。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。重大な目への刺激を引き起こす。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。皮膚に触れた場合：水でよく手を洗うこと。昏睡およびめまいを起こすおそれ。臓器への損傷を引き起こす。吸引すると、受胎（生殖）能力または胎児に損傷を与える可能性があります。水生生物に有毒である。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。取り扱い前に特別の指示を受ける。
GHS の分類 JIS Z 7252: 2014 物理的な危険性 健康に対する有害性	引火性液体, オランダ 3 急性毒性 (口), オランダ 4 吸引性呼吸器有害性, オランダ 1 皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー2 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性, カテゴリー2 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 1 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 3 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), オランダ 2 生殖毒性, オランダ 1A
環境に対する危険	水生環境有害性, 急性, オランダ 2 水生環境有害性, 慢性, オランダ 3
GHSラベル要素	

危険性を表す絵文字



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の液体及び蒸気。  
 飲み込むと有害である。  
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。  
 膚刺激性。  
 重大な目への刺激を引き起こす。  
 臓器への損傷を引き起こす。  
 昏睡およびめまいを起こすおそれ。  
 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。  
 胎児に害を及ぼす疑いあり。  
 水生生物に有毒である。  
 長期継続的影響により水生生物に有害。

危険有害性情報  
 安全対策

取り扱う前に特別の指示を受ける。  
 安全上の注意を全て理解したうえで取り扱う。蒸気の吸入を避ける。  
 取り扱いの後手と暴露された皮膚を徹底的に洗う。  
 熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。  
 容器を密封して保管する。  
 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。  
 環境に排出しないようにする。

応急処置

内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。  
 飲み込んだ場合：中毒センター、医師、または、...に連絡すること。  
 皮膚に触れた場合：水でよく手を洗うこと。  
 皮膚が刺激された場合：医師の診断/手当てを受けること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。  
 吸い込んだ場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。  
 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の手当て/診断を受けること。  
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

保管

他の危険有害性

知られていない。

### セクション 3: 組成/成分情報

物質 該当なし。  
 混合物

GHS の分類 JIS Z 7252: 2014

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	化審法 官報公示番号 <sup>△</sup>	危険有害性分類
トルエン	< 50	108-88-3	3-2	引火性液体, オランダ 2 急性毒性 (口), オランダ 4 吸引性呼吸器有害性, オランダ 1 皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー 2 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性, カテゴリー 2 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 1

				特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 3 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 3 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), オランダ 1 生殖毒性, オランダ 1A 水生環境有害性, 急性, オランダ 2 水生環境有害性, 慢性, オランダ 3
Talc	< 20	14807-96-6	割り当てられていない。	特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 1 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), オランダ 1
ポリスチレン (PS)	< 15	9003-53-6	6-120	引火性液体, オランダ 3 急性毒性 (吸入), オランダ 4 皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー2 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性, カテゴリー2
キシレン	< 10	1330-20-7	3-3	引火性液体, オランダ 3 急性毒性 (経皮), オランダ 4 急性毒性 (吸入), オランダ 4 吸引性呼吸器有害性, オランダ 1 皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー2 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性, カテゴリー2 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 1 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 3 特定標的臓器への毒性 (反復暴露), オランダ 1 生殖毒性, オランダ 1B 水生環境有害性, 急性, オランダ 2 水生環境有害性, 慢性, オランダ 2

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 16 を参照する。^化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律  
 当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません

#### セクション 4: 応急処置



##### 応急処置の説明

最初の救助者自身の保護

必要な個人用保護具を使用する。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。適切な換気を確保する。蒸気を吸入してはならない。全ての接触を避けること。汚染された衣服は、再利用の前に洗濯しなければなりません。

吸入

吸い込んだ場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。呼吸が止まったり弱くなる症状が見えた場合は、人工呼吸を施す。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。

皮膚接触

皮膚に触れた場合：水でよく手を洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

摂取

飲み込んだ場合：中毒センター、医師、または、…に連絡すること。空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。無理に吐かせない。多量の水を飲ませること。自然に嘔吐する場合は、頭部を腰の高さよりも低く保ち、肺に吸引しないようにしてください。

**最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)**

飲み込むと有害である。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。腐刺激性。重大な目への刺激を引き起こす。嘔気/嘔吐を引き起こす可能性があります。臓器への損傷を引き起こす。昏睡およびめまいを起こすおそれ。呼

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態

吸刺激を起こすおそれ。長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。アルコールを摂取すると、毒性影響が増加される。  
症状によって処置する。

## セクション 5: 火災時の措置

### 消火剤

適切な消火剤

泡消火剤、スプリンクラーまたは霧状消火剤。二酸化炭素は小規模の火災にのみ使用できる。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。

当該物質または混合物に起因する特別な危険性

引火性の液体及び蒸気。火災の時分解されて、有毒な煙を発生する：一酸化炭素、二酸化炭素。液体が下水道、地下室及びワークピットに入らないようにする：蒸気は爆発性雰囲気を作り出すことがある。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。

消火作業者の特別な保護具と予防措置

適度な距離から注意して消火にあたる。消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。消火活動による流出物を下水溝や河川を流入させないでください。

## セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

注意 - 流出物は滑りやすい時もある。適切な換気を確保する。安全に対処できるならば漏洩をとめる。安全に対処できるならば全ての着火源を取り除く。蒸気を吸入してはならない。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。適切な呼吸防護具を装着してください。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照：8. 再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。蒸気は空気より重い；くぼみと閉鎖空間に気を付ける。

環境的予防措置

環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。

封じ込めと清掃のための方法および資材

流出物をとり除く間、(呼吸装置を含む)適切な保護具を着用する。引火性漏洩物を回収するときには、無火花機器を使用すること。流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。おがくず又は可燃性の物質には吸収させない。廃棄用またはリサイクル用のふたの付いた容器に移す。区域を換気し、物質の回収が終わったら漏洩場所を洗浄してください。この材料とその容器を有害廃棄物として処分します

## セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための注意事項

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。蒸気を吸入してはならない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。摂取しないでください。保護手袋/保護眼鏡/着用する。静電気放電に対する予防措置を講ずる。この製品は裸火やその他の着火源から遠ざけて保管する。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。

安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

容器および受器を接地し固定する。容器を密封して保管する。熱源および着火源から離れた、換気の良い(乾燥した)冷所/低温の場所に貯蔵すること。こぼれた場合の土壌や水の汚染を防ぐための貯蔵施設の整備。

保管温度

常温の。 > -160 °C と < 454 °C

保管期間

普通の状態で安定。

混触危険物質

次のものから離して保管する。強酸化物類。

## セクション 8: 暴露防止及び保護措置

### 職業暴露限度

物質	CAS 番号	長期暴露限界 (8 時間 TWA ppm)	長期暴露限界 (8 時間 TWA mg/m <sup>3</sup> )	短時間暴露限界 (ppm)	短時間暴露限界 (mg/m <sup>3</sup> )	参照
トルエン	108-88-3	50	188	-	-	JSOH, Sk

出典: JSOH 職業暴露限界の勧告 (2015 年・016 年)

参照: Sk-皮膚から吸収されることがある。

#### 生物学的暴露指標

確立されていない。

#### PNEC および DNEL

確立されていない。

#### 適切な工学的管理

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。

#### 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。蒸気の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。保護衣は、扱う有害物質の濃度と量に応じて、作業場所専用に選択する必要があります。保護服の化学物質に対する耐性は、それぞれの供給業者に確認する必要があります。

#### 目/顔面の保護



液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。

#### 皮膚の保護



#### 手の保護:

不浸透性手袋を着用すること。使用する手袋の種類は、作業の内容と時間および取り扱う物品の濃度/量に基づいて選択しなければならない。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。EN 374に準拠した480分以上の浸透時間に対応する、保護指数6。

適した材料: ブチルゴム。(最小厚さ: 0.7mm), ニトリルゴム。(最小厚さ: 0.4mm), ヤケ哩サビニル<sup>VC</sup>。

#### 体の保護:

長靴、白衣、前掛けまたはつなぎ服を含む不浸透性の防護衣を適宜着用して、皮膚に接触しないようにしてください。

#### 呼吸器の保護



換気のよい場所でのみ取り扱う。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

多量の場合 - A型フィルターの付いた適切なマスク (EN141またはEN405) が適すると思われる。

#### 特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項

知られていない。

## セクション 9: 物理的および化学的性質

### 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	液体。
におい	ベンゼンのような。におい
臭いの閾値	資料なし。
pH	資料なし。
融点/凝固点	資料なし。
初留点と沸騰範囲	93.3°C
引火点	資料なし。
蒸発速度	資料なし。
燃焼性 (固体、ガス)	該当なし。 - 液体。
上限/下限可燃性または爆発限界	資料なし。
蒸気圧	資料なし。
蒸気密度	資料なし。
相対密度	資料なし。
溶解度	水とまじらない。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	資料なし。
分解温度	資料なし。
粘度	資料なし。

### セクション 10: 安定性および反応性

<b>反応性</b>	普通の状態安定。
<b>化学的安定性</b>	普通の状態安定。
<b>危険な反応の可能性</b>	引火性の液体及び蒸気。蒸気は目に見えず、空気より重く、場合によっては地面に沿って拡散する。
<b>避けるべき条件</b>	熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。
<b>混触危険物質</b>	次のものから離して保管する。強酸化物類。
<b>危険有害性分解生成物</b>	火災の時分解されて、有毒な煙を発生する: 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物。

### セクション 11: 有害性情報

<b>毒性に関する情報</b>	
<b>急性毒性</b>	
<b>摂取</b>	急性毒性 (口), オランダ 4; 飲み込むと有害である。
トルエン	急性毒性 (口), オランダ 4; H302 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類
<b>吸入</b>	LD50 (経口、ラット) mg/kg: 5580 (EU (欧州連合) 方法 B.1)
キシレン	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<b>皮膚接触</b>	急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 20 mg/l.
キシレン	急性毒性 (吸入), オランダ 4 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類
<b>皮膚腐食性/刺激性</b>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
トルエン	急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日.
キシレン	急性毒性 (経皮), オランダ 4 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類
<b>皮膚腐食性/刺激性</b>	皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー-2; 膚刺激性。
トルエン	皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー-2 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類
キシレン	皮膚を刺激する。(ウサギ) (EU (欧州連合) 方法 B.4)
ポリスチレン(PS)	皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー-2 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類
<b>眼に対する重篤な損傷/眼刺激性</b>	ECHA 登録エンドヤ C ント要約: 目、呼吸器系及び皮膚を刺激する。
	皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー-2
	データなし。
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性, カテゴリー-2; 眼の刺激をもたらす。

トルエン	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性, カテゴリー2 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 目に軽い刺激作用がある。(ウサギ) (OECD 405)
キシレン	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性, カテゴリー2 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 ECHA 登録エンドポイント要約: 目、呼吸器系及び皮膚を刺激する。
ポリスチレン(PS)	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性, カテゴリー2 データなし。
<b>呼吸器感作性又は皮膚感作性</b>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<b>生殖細胞変異原性</b>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<b>発がん性</b>	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
<b>生殖毒性</b>	生殖毒性, オランダ 1; 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
トルエン	生殖毒性, オランダ 1A 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 生殖毒性: NOAEC (ラット) (吸入 曝露) mg/m <sup>3</sup> 2261. (Ono, 1996) 発生毒性: NOAEC (ラット) (吸入 曝露) mg/m <sup>3</sup> 4522. (Thiel, 1997)
キシレン	生殖毒性, オランダ 1B 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 生殖毒性: NOAEC (ラット) ((吸入 曝露) mg/m <sup>3</sup> 2171. (EPA OPPTS 870.3800) 発生毒性: NOAEC (ラット) ((吸入 曝露) mg/m <sup>3</sup> 2171. (OECD 414)
<b>特定標的臓器への毒性 (単回暴露)</b>	特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 1; 臓器への損傷を引き起こす。 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 3; 呼吸刺激を起こすおそれ。
トルエン	特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 1 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 データなし。 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 3 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 データなし。 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 3 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 LC50 (吸入、ラット) mg/l/4 時間: 28.1. 痲酔薬等による昏睡状態。 (OECD 403)
キシレン	特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 1 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 データなし。 特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 3 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 ECHA 登録エンドポイント要約: 目、呼吸器系及び皮膚を刺激する。
Talc	特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 1 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 データなし。
<b>特定標的臓器への毒性 (反復暴露)</b>	特定標的臓器への毒性 (反復暴露), オランダ 1; 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。
トルエン	特定標的臓器への毒性 (反復暴露), オランダ 1 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 経口: 悪影響が観察された - NOAEL (ラット) mg/kg 体重/日 625 (EU (欧州連合) 方法 B.26) 吸入: NOAEC (ラット) mg/m <sup>3</sup> 1131 (OECD 453) 経皮: データなし。
キシレン	特定標的臓器への毒性 (反復暴露), オランダ 1 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 経口: 悪影響が観察された - NOAEL (ラット) 250 mg/kg 体重/日 吸入: 悪影響が観察された - NOAEC (ラット) 3515 mg/m <sup>3</sup> 経皮: データなし。
Talc	特定標的臓器への毒性 (反復暴露), オランダ 1 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類

吸引性呼吸器有害性 トルエン	機構 GHS の分類 データなし。 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 吸引性呼吸器有害性, オランダ 1 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類
キシレン	炭化水素 吸引性呼吸器有害性, オランダ 1 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 炭化水素

## セクション 12: 環境影響情報

毒性	水生環境有害性, 急性, オランダ 2; 水生生物に有毒である。
トルエン	水生環境有害性, 慢性, オランダ 3; 長期継続の影響により水生生物に有害。 水生環境有害性, 急性, オランダ 2 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 LC50 (魚) mg/l (96 時間) 5.5 (Moles, 1981) 水生環境有害性, 慢性, オランダ 3 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類
キシレン	NOEC (魚類) mg/l (40 日) 1.4 (Moles, 1981) 水生環境有害性, 急性, オランダ 2 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 LC50 (魚) mg/l 2.6 (OECD 203) 水生環境有害性, 慢性, オランダ 3 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 NOEC (魚類) mg/l >1.3 (Walsh et al, 1977)
残留性および分解性	混合物全体としてのデータはありません。
トルエン	易生分解性 (OECD 基準による)。
キシレン	容易に生分解される。(10 日。)(OECD 301 F)
ポリスチレン(PS)	データなし。
Talc	容易に生分解される。無機物には適用されない。
生物蓄積性	混合物全体としてのデータはありません。
トルエン	BCF = 90 - この物質は生物濃縮の可能性が低い。ECHA 登録書類
キシレン	この物質は生物濃縮の可能性が低い。ECHA 登録書類
ポリスチレン(PS)	データなし。
Talc	QSAR: BCF = -0.05 - この物質は生物濃縮の可能性が低い。ECHA 登録書類
土壌中の移動度	混合物全体としてのデータはありません。
トルエン	この物質は土壌内での移動性が高い。ECHA 登録書類
キシレン	この物質は土壌中で中程度の移動性と予想される。ECHA 登録書類
ポリスチレン(PS)	データなし。
Talc	QSAR: Koc = 31.82. この物質は土壌中での移動性が低い。
PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない 本製品の物質はいずれも、PBT または vPvB 物質とみなされる基準を満たしていません。
その他の有害な作用	知られていない。
トルエン	この化学物質は、ある種の条件下で土壌を通して地下水に浸出することが知られている。

## セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理法	この材料とその容器を有害廃棄物として処分します法律に従い、前処理後にし かるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。
追加情報	内容を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。



### セクション 14: 輸送上の注意

	ADR/RID	IMDG	IATA/ICAO
国連番号	UN 1993	UN 1993	UN 1993
UN 適切な船積み名	引火性の液体 N. O. S. (トルエン/キシレン)	引火性の液体 N. O. S. (トルエン/キシレン)	引火性の液体 N. O. S. (トルエン/キシレン)
輸送危険分類	3	3	3
輸送危険分類	II	II	II
Marine pollutant	環境的に有害な物質	海洋汚染物質に分類されている。	環境的に有害な物質
使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2		
MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。		

### セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

#### 労働安全衛生法 (ISHA)

通知対象物	トルエン: ≥0.1% キシレン: ≥0.1%
表示対象物	トルエン: ≥0.3% キシレン: ≥0.3%
有機溶剤。	トルエン キシレン
毒物及び劇物取締法	トルエン キシレン
化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律	すべての化学物質が記載されていません
化学物質排出把握管理促進法	すべての化学物質が記載されていません

### セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 該当なし。 - V1.0.

**参考文献:** NITE 化学物質総合情報提供システム, 既存の安全データシート (SDS), 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS の分類 以下を対象: トルエン (CAS 番号 108-88-3), キシレン (CAS 番号 1330-20-7), Talc (CAS 番号 14807-96-6). 既存の ECHA 登録 トルエン (CAS 番号 108-88-3), キシレン (CAS 番号 1330-20-7), Talc (CAS 番号 14807-96-6), EU の分類および表示目録 ポリスチレン (PS) (CAS 番号 9003-53-6).

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252:2014 及び JIS Z 7253:2012 に盾で作成した。

#### 注釈

LTEL: 長期暴露限界	STEL: 短時間暴露限界
JSOH: 日本産業衛生学会	vPvB: 高難分解性、高生物蓄積性
NOAEL: 有害な影響が観察されないレベル	NOAEC: 有害な影響が観察されない濃度

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

#### 免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件（法的なあるいはそうでない）はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません。

ん（欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き）。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。



## Disclaimer

ALL PRODUCTS, PRODUCT SPECIFICATIONS AND DATA ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.

Vishay Precision Group, Inc., its affiliates, agents, and employees, and all persons acting on its or their behalf (collectively, "VPG"), disclaim any and all liability for any errors, inaccuracies or incompleteness contained herein or in any other disclosure relating to any product.

The product specifications do not expand or otherwise modify VPG's terms and conditions of purchase, including but not limited to, the warranty expressed therein.

VPG makes no warranty, representation or guarantee other than as set forth in the terms and conditions of purchase. **To the maximum extent permitted by applicable law, VPG disclaims (i) any and all liability arising out of the application or use of any product, (ii) any and all liability, including without limitation special, consequential or incidental damages, and (iii) any and all implied warranties, including warranties of fitness for particular purpose, non-infringement and merchantability.**

Information provided in datasheets and/or specifications may vary from actual results in different applications and performance may vary over time. Statements regarding the suitability of products for certain types of applications are based on VPG's knowledge of typical requirements that are often placed on VPG products. It is the customer's responsibility to validate that a particular product with the properties described in the product specification is suitable for use in a particular application. You should ensure you have the current version of the relevant information by contacting VPG prior to performing installation or use of the product, such as on our website at [vpgsensors.com](http://vpgsensors.com).

No license, express, implied, or otherwise, to any intellectual property rights is granted by this document, or by any conduct of VPG.

The products shown herein are not designed for use in life-saving or life-sustaining applications unless otherwise expressly indicated. Customers using or selling VPG products not expressly indicated for use in such applications do so entirely at their own risk and agree to fully indemnify VPG for any damages arising or resulting from such use or sale. Please contact authorized VPG personnel to obtain written terms and conditions regarding products designed for such applications.

Product names and markings noted herein may be trademarks of their respective owners.

Copyright Vishay Precision Group, Inc., 2014. All rights reserved.